

# 建廃協NEWS 62号

## 基礎講習会開催 2018.4.19



今年も日本教育会館にて基礎講習会が開催されました。今年4月から入社した新人社員や新しくこの業界に入った方、約50人の参加者でした。

まず始めに、建廃協の顧問弁護士でもある佐藤泉先生から「廃棄物処理法の入門」の講義を受けました。幾つかの法令違反事例に基づいて、どのような処分・罰則があるのかを学びました。実際にあった事件だったので、皆も大変真剣な様子で講義を受けていました。



次に理事長から「目で見える建設廃棄物」の講義がありました。新人向けということで言葉ではなく写真で各廃棄物の説明を行っていただき、どのような廃棄物が運ばれてくるのか、どのようにして出されるのか、どんな廃棄物が有害なのか、どのようにして最終処分されるのか等、大変分かりやすく、私も改めて廃棄物の基礎を学ぶことができました。



続いて事務局長・イーリバーズ・ドットコムから「契約書・マニフェスト」「電子契約・電子マニフェスト」についての説明がありました。紙マニフェストから電子マニフェストに移行していく中でとても重要な講義でした。



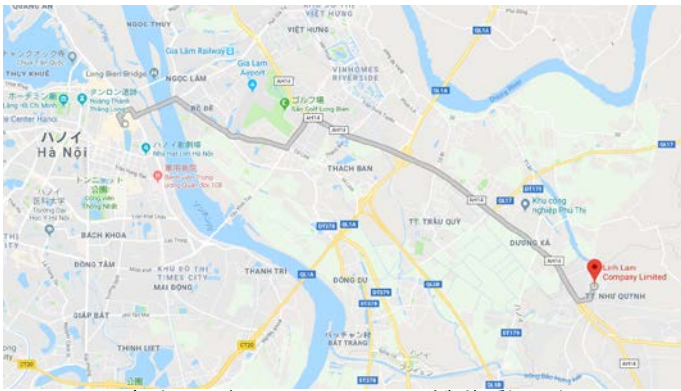
レポート 東明興業(株) 福田

[参加者のアンケート結果はこちら](#)

## お知らせ

- ★総会が5月29日(火) 京橋区民会館1Fで行われます。
- 日報の富見田さんをお迎えし講演を伺います。終了後は懇親会も予定しております。

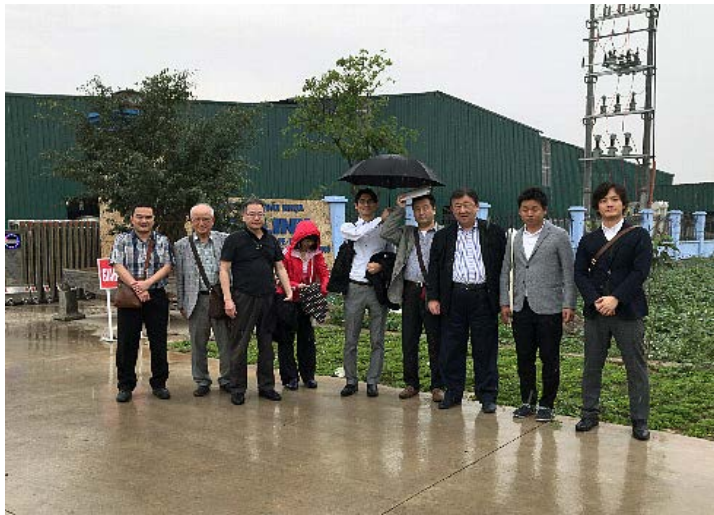
# ベトナムハノイ視察報告 2018.4.5~4.7



ハノイ市から東に20kmほど移動したフイエーンという町に廃プラスチックを専門に扱っている一角がある。

再資源化委員会では4月5日～4月7日の日程で、ハノイ市にあるプラスチック再生工場の視察会を行った。

今回の視察先は宿泊場所から20kmほど離れたフイエーンという町の一角で、廃プラスチックだけを専門にリサイクルしている場所に案内してもらった。現地についてはあいにくのスコールで足元も悪く、工場以外では車から降りられなかったため車窓からしか街並みを見ることができなかったが、種類ごとに分けられた廃プラスチックが大量に道路わきの露天に集積されており、廃プラスチックの森を走っているような錯覚を起こすほどだった。



Linh Lam Company Limitedの前で記念撮影。



全長20mほどのラインで洗浄からペレット化まで行っており、3本のラインが稼働していた。

廃プラスチック類を専門に加工している会社が複数集まったLinh Lam Company Limitedの中にあるダイキンハンエンプラスチック株式会社の工場を視察した。

ここでは農業用ビニールハウスの廃プラスチックを洗浄・溶融し、再生ペレットを製造しており、ビニール袋やフレコンの材料としてベトナム国内での利用が主な出荷先とのことだが、一部は中国にも輸出しているとのこと。材料となる廃プラスチックは同じ種類だけを使っているようで、製品としての品質も比較的安定しているとのことだった。



製造された再生ペレット

